

金沢八景権現山公園

京急「金沢八景駅」の駅前に位置する風致公園で、東照宮とその別当寺であった円通寺の境内の跡地に整備されました。園内にある茅葺屋根の「旧円通寺客殿」は、横浜市の特定景観形成歴史的建造物に指定されており、隣接する横浜市指定天然記念物である樹叢（じゅそう）とともに、江戸時代の金沢八景の情景を今に伝えています。園内頂上からは平潟湾が望め、公園の西側にある展望広場からは園内と市街地が一望できます。園内には、サクラのほか、ウメやモミジなどの花木が植えられ、歴史的建造物とともに美しい風景を観賞することができ、訪れた人たちが安らげる憩いの空間となっています。



旧円通寺客殿

金沢の代官である八木次郎右衛門によって、万治年間（1658～1661）に東照宮が創建され、同じころ東照宮を管理する別当寺として円通寺も建てられたと推定されています。その後、江戸時代後期の1802年に東照宮を詣でる人をもてなすため、境内に円通寺客殿が建築されました。



家康

当時、境内山頂から見た風光明媚な景色を気に入った家康は、この地を何度も訪れました。またこのあたりを海の防衛地として目を付けていたようです。家康の没後、お気に入りだったこの場所に東照宮が創建されたと言われています。

公園開園時間 9:00～17:00

旧円通寺客殿開館時間 9:30～16:30

入園・入館 無料

休園日 毎月第4月曜日 ※休日の場合は翌平日

年末年始（12/29～1/3）

瀬戸 20-3 ☎045-370-7535

アクセス 京急・シーサイドライン「金沢八景駅」よりすぐ

“横浜金沢にもあった！”徳川家康のゆかりの地

家康×横浜金沢

大河ドラマ「どうする家康」の徳川家康ゆかりの地が横浜金沢にもあります。江戸時代から続く歴史を感じ、巡ってみてはいかがでしょうか。

お願い
神社・お寺は静かなところです。ルールを守ってお参りください。

ここにもあるよ！ 横浜市金沢公会堂内ホワイエ 「金沢八景を描いた襖絵」



江戸城本丸御殿、中奥御休憩の間 上段の間（徳川将軍の日常生活の間）に「野島」を中心に描かれた「金沢八景」の襖絵がありました。床の間を背に座ると正面に「金沢八景」の襖絵が見えたそうです。当時は有名な景勝地であったということが伺えます。
※襖絵は復元されたものです。ご覧になりたい方は受付でお尋ね下さい。講堂使用時はご覧いただけませんのでご了承ください。

横浜市金沢公会堂

泥亀 2-9-1 ☎045-788-7890

アクセス 京急「金沢文庫駅」より徒歩 11 分 京急「金沢八景駅」より徒歩 13 分

令和 5 年 3 月 発行
一般社団法人横浜金沢観光協会
横浜市金沢区洲崎町 1-18
☎045-780-3431



金沢区幸せお届け大使
ぼたんちゃん





竹嵩山（ちくがんざん）禪林寺

下総東昌寺二世能山聚藝禪師に帰依する初代古河公方足利成氏（しげうじ）は、禪師に、父である持氏（もちうじ）の供養を依頼しました。これにより禪師は明応2年（1493）5月、先に持氏が創建した釜利谷の竹嵩山禪林寺に入山しました。その後、小田原北条氏家臣の江戸衆重役の伊丹三河守永親（いたみみかわのかみながちか）が先祖供養のために禪林寺を再興したと伝えられています。墓地には伊丹氏一族の墓があり、お参りいただけます。

伊丹氏一族の墓



家康公御神影



家康

伊丹氏一族が、江戸浅草寺・江戸城内紅葉山東照宮と関係があって、禪林寺のある坂本村が紅葉山東照宮領となり、禪林寺に東照大権現（徳川家康）の御神影が下賜されました。毎年4月17日の家康公の命日に御神影は一般公開されます。

釜利谷東 6-40-32 ☎045-781-9814

アクセス 京急「金沢文庫駅」西口よりバス「坂本」下車徒歩 10分

瀬戸神社

元来、この地は入海の瀬戸（狭い海峡）で干満時に急流となり、海上交通の難所であったため、5～6世紀の頃から海神を祀っていたようです。この霊地に源頼朝が挙兵に際して戦勝を祈願して、伊豆三島明神を勧請したのが瀬戸神社の始まりです。鎌倉時代から伝わる多数の文化財が保存されており、なかでも源実朝が使用し、母の北条政子が奉納したといわれる舞楽面二面（抜頭面と陵王面）が平成12年（2000）、国の重要文化財に指定されたことが特筆されます。国道16号を挟んで向かい側には北条政子が夫にならって、琵琶湖の竹生島弁財天を勧請した、琵琶島神社があります。

家康

武家政権最初の将軍である源頼朝を崇敬していた家康は、瀬戸神社を参拝し金沢の地に宿泊したそうです。小田原北条氏滅亡後、新たな支配地域の管理体制を進める過程で、瀬戸神社に百石の社領を寄進する朱印状を出しました。また、家康の没後には円通寺の裏山に東照宮が祀られて、権現山と呼ばれるようになり、明治になって瀬戸神社に合祀されました。

瀬戸 18-14 ☎045-701-9992

アクセス 京急・シーサイドライン「金沢八景駅」より徒歩 2分



境内には東照宮から移設された一対の石灯籠がある



知足山（ちそくざん）龍華寺

源頼朝が瀬戸神社を建立した後、文覚上人と共に瀬戸神社の別当寺として六浦山中に建てた「蔵福寺（のちに浄願寺と改名）」が始まりといわれています。その後、戦乱や火災で浄願寺の伽藍が荒廃したため、明応8年（1499）融弁上人（ゆうべんしょうにん）が、兼務していた光徳寺と併合し、当地に移り、龍華寺となりました。貴重な宝物も多く、日本尊「弥勒菩薩坐像」（室町時代）のほか、「脱活乾漆造菩薩坐像」（天平時代）、「木造阿弥陀如来坐像」（平安時代）、「地藏菩薩坐像」「木造龍頭」（室町時代）などが、横浜市指定文化財となっています。牡丹などの華の寺としても知られます。

家康

源頼朝ゆかりの地である金沢を何度も訪れた家康は、瀬戸神社参拝ののち、別当寺である龍華寺に立ち寄りました。寺の名前を「立源氏（りゅうげんじ）」と聞き喜び、これを機会に「龍源寺（りゅうげんじ）」と名付けたとも話が伝わっています。

洲崎町 9-31 ☎045-701-6705

アクセス 京急・シーサイドライン「金沢八景駅」より徒歩 7分